

# ぐんま広報

県対人前男女世帯数 : 1,958,409人  
口月 : -291人  
 : 967,165人  
 : 991,244人  
 : 791,211世帯  
(県移動人口調査:平成29年10月1日現在)

No.343  
2017 12

発行 : 群馬県広報課 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎ 027-226-2162 ☎ 027-243-3600  
県ホームページ <http://www.pref.gunma.jp/>



宝川温泉(みなかみ町)

県内の温泉地の情報をお知らせしています。  
「ググっとぐんま公式サイト」(ググっとぐんま観光宣伝推進協議会ホームページ)  
<http://gunma-dc.net/>

## 特集

# 子どもの居場所づくり

子どもの健やかな成長には、大人や仲間と関わり合いながら、生きていくために必要な学力や生活力を身に付けることが不可欠です。そのため県では、どのような家庭環境であってもたくましく成長し自立する力を身に付けられるよう、子どもたちが地域で安心して過ごせる居場所づくりに取り組んでいます。



中之条小学校放課後子ども教室でジェスチャー遊びをする子どもたち

### 子どもを取り巻く環境の変化

核家族や共働き世帯の増加など家庭状況の多様化により、さまざまな事情で放課後や休日などを独りで過ごす子どもが増えています。

そのような状況では、子どもが独りで食事を取る「孤食」や生活習慣の乱れ、他者とのコミュニケーション不足、学習の遅れなどさまざまな問題が起こりやすいといわれています。また子どもをサポートできる人が近くにいない家庭では、親も悩みを抱えやすくなっています。

こうした問題に対して、家庭だけでなく地域の人が子どもと関わる「地域の子育て力」が求められています。

### 実態調査から分かった現状

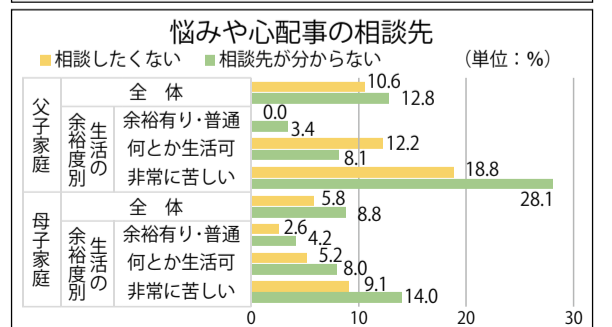
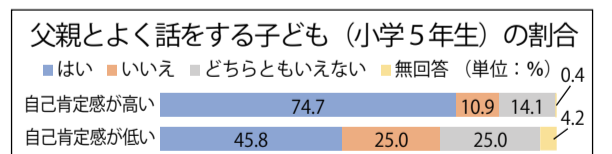
県内の子どもや家庭がどのようなことに困っているのかを調べるため、県は28年度に「子どもの生活実態調査」を実施しました。

この調査では、学校や児童相談所、保育所の職員、主任児童委員など子どもや家庭を支援している人に、アンケートと聞き取りを行いました。

また同年度に実施した「ぐんま青少年基本調査」や「ひとり親世帯等調査」の結果と併せて分析を行いました。

その結果、親子の関わりの問題などが、子どもが自立するために必要な学力や基本的な生活習慣、集団生活に適應するための社会性、自己肯定感に影響を与えていることが分かりました。

また生活に余裕がない親ほど、悩みや心配事を誰にも相談しない傾向にあることも分かりました。



### 子どもの居場所づくり

調査の結果から、困っていても自ら支援を求めない家庭の子どもをどのように支援していくか、また悩みを相談せずに抱え込んでいく親にどのような情報提供をしていくかなどの課題が見えてきました。

そこで県は、どのような家庭環境でもたくましく成長できるための「子ども支援」、地域全体で子育てを支える「親支援」、親子のつながりを確かなものにする「親子関係支援」の三つの視点による支援体制の充実を図っています。

特に今年度から、家庭の事情により親が十分に関わることができない子どもが、地域で安心して過ごせる「子どもの居場所づくり」に重点的に取り組んでいます。

子どもの居場所が發展し、親子ぐらみで地域と関わることができるよう親の居場所になることで、親の支援につながることも期待できます。

地域で行われている「子どもの居場所づくり」の活動を紹介します。

# 「県子どもの生活実態調査」から見えてきたもの

## 現場で子ども・家庭の支援に携わっている人の意見



家族や友達、地域の人と交わる機会が少なくなり、適応性が育たない (子育て支援拠点の職員)



親が子どもと上手に関われないことで、家庭で十分に生活習慣を身に付けることができないケースが見られる (学校の教員)



支援機関が親の話を聞いてあげるなど、悩みやストレスを少しでも和らげることが重要 (保育所の職員)



単に居場所をつくるのではなく、子どもが親と関わる時間を増やすことにつながるような支援の在り方を考えることが必要 (主任児童委員)

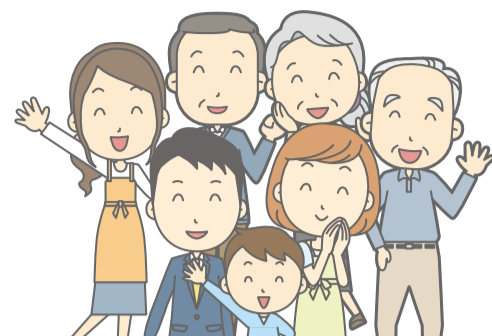
### 課題

支援を必要とする子どもの掘り起こし

子育てに悩む親、孤立する親への支援

民間団体と行政との関わり方の薄さ

など



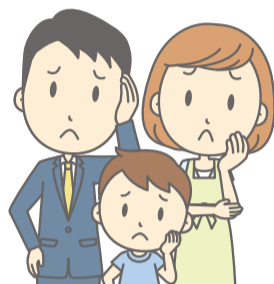
### 三つの視点

親子関係支援

子ども支援

居場所づくり

親支援



**県の取り組み**

「県では実態調査を踏まえ、子どもが信頼できる大人との温かなつながりの中で学力や生活力を身に付け、自立する力を養う場所が重要と考え、子どもの居場所の充実に取り組んでいます。」

今年度は地域全体で機運を高め、関係者同士の連携を促進するため『子どもの居場所づくりフォーラム』を7月に開催しました。また民間団体などが子どもの居場所を開設するための経費を補助しています。

今後は、子どもの居場所づくりを担う人が親からの相談を受けた場合に、支援機関につないでくれることも期待しています。そのための人材育成研修や地域のネットワークづくりに取り組むたいと考えています。

県内ではさまざまな形で子どもの居場所が運営されています。このような場所は、子どもや保護者が地域で暮らす上でとても重要な存在です。県としても、子どもが安心して将来に夢を抱けるよう、市町村や民間団体などと協力しながら、子どもの居場所が当たり前にある地域社会の実現を目指して支援していきます。



くぼ なおたか 久保直孝さん

子どもの居場所づくりに関する県の取り組みや今後の方向性について、県庁子育て・青少年課の久保子育て支援係長にお聞きしました。

**子ども教室での活動**

「中之条小学校放課後子ども教室は、19年4月に始まりました。対象は小学1〜3年生で、現在142人の児童が登録しています。

教室の運営は、行政・学校の支援やボランティア・地域の人などの協力で成り立っています。開設当初から携わっている私の役割は、リーダーとして年間計画を作成したり、活動を統括したりすることです。

教室では、毎週火曜日に運動やゲーム、工作、中之条かるたを中心とした活動を、また土曜日には、月に1回ずつ上毛かるたとスポーツチャンバラの活動をしています。

中之条かるたは、子どもたちに自分の住んでいる地域をよく知ってもらい、親しんでもらいたいという思



けぶ かわむさよ 榮生川久世さん

中之条小学校放課後子ども教室で教育活動推進員を務める榮生川さんにお聞きしました。

**放課後子ども教室**

放課後子ども教室は市町村が実施主体となり、地域の協力を得ながら学校の空き教室などを活用して放課後に行う活動です。学習支援やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動など、さまざまな活動が行われています。



中之条かるたで遊ぶ子どもたち

「子ども教室では、家庭ではなかなか体験できない事をたくさんする工夫をしています。例えば、毎年1年生がする板にくぎを打つ体験です。出来上がった板は、くぎに輪ゴムを掛けて迷路にしたり、立て掛けて上からビー玉を落としたりして遊びます。子どもたちには、教室で覚えたことだけでなく、自分たちで発想を膨らませていろいろな遊びを作り出すことを身に付け、大人になっても何かを創造する楽しさを持ち続けてほしいです。

これからも子どもたちが放課後を楽しく過ごせる場所を目指していきたいと考えています。そして、教室に来ていた子どもたちが、何年たっても楽しかった場所として思い出してくれるとうれいだと思います。」

**さまざまな体験を**

「これから、当初から取り入れていました。またかるた取りだけでなく、短冊と一緒にかるたの札を付けた大きな七夕飾りを作り、毎年中之条駅に飾ってもらったりもしているんですよ。これらの活動が認められ、昨年、文部科学大臣から表彰されたことはメンバーの励みになっています。」

### 子ども食堂

子ども食堂は、子どもが一人でも安心して来ることができ、無料または安価で食事の提供を受けられる場所です。子どもだけでなく地域の人が利用できる子ども食堂もあります。

子ども食堂「みんなでごはん」を運営する高崎子ども食堂実行委員会代表の矢沼さんにお聞きしました。



やぬま ゆうこ 矢沼裕子さん

### 多くの人に支えられて

「私は調理師免許を持っていて、会社勤めの傍ら、平日の夜間や休日だけ小さな飲食店を開いていました。去年の5月に見たテレビ番組で、子どもが独りで食事を取る『孤食』をなくそうと東京で開設された食堂のことを知りました。私にもできると思い、子ども食堂を開こうと決めました。」

その後、高崎市内で子ども食堂を開設しようとしている人たちに会い、私も一緒に準備を進めました。

『孤食』の解消や食育の場、子どもの貧困対策など、子ども食堂に対する思いはそれぞれでしたが、去年の8月に食堂を始めることができ、11月に現在の場所に移転しました。

現在は、8人のボランティアスタッフが毎週月・金曜日の夜に開いてい

ます。毎回、親子や近所のお年寄りなどが来てくれます。

子ども食堂の運営は、場所の提供や食材の寄付をしてくれる多くの人や企業などに支えられています。おかげで魚と卵以外の食材は全て寄付で賄うことができています」

### 「いい居場所」づくりを

「ここでは1食当たり大人500円、子ども300円で誰でも利用できます。また食事に困っている人には特別な料金で提供しています。大人が利用すると、子どもたちの食事がなくなってしまうのではないかとよく心配されます。しかし、地域の人に『食べるボランティア』として利用してもらうことで、寄付では集まりづらい食材が購入できるようになり、より栄養バランスの取れた食事を提供することができます。」

最近では、食事が終わった後もしばらくの間ここで過ごす人が増えてきて『いい居場所』になってきたと感じています。この子ども食堂は、子どもも大人も関係なく、大勢の人が集まっにぎやかに食事ができる場所です。そういう体験をしたいと思っている子育て世代の人たちに、もっと利用してもらいたいです」



子ども食堂で食事をする子どもたち

### 子どもの学習支援

子どもの学習支援には、市町村が設置し、地域と学校が連携・協働して原則無料で行っている所や、県・市や民間団体が設置し、支援を要する子どもに無料で行っている所があります。また県内には、誰でも参加できる無料学習会もあります。

桐生市で小・中学生を対象に開いている無料学習会「スタディミーツ」代表の滝澤さんにお聞きしました。



たきざわ れいか 滝澤玲香さん

### 学生としてできることを探して

「私は長野県出身で、群馬大学大学院理工学府の2年生です。桐生に住んで5年目になりますが、街の雰囲気や山に囲まれた環境が生まれ故郷と似ていて、愛着を感じています。約3年前にキッズバレイというNPO法人が主催する小学生向け体験プログラムに、ボランティアとして参加しました。その頃から、学生の立場で子どもたちのために何かできることがあるのではないかと、また桐生の街のために何か協力できることはないかと考えを巡らせていました。私の周りには、家庭教師や学習塾の講師など子どもに勉強を教えることが好きな人が多かったので、学習会の運営を思い付きました。そんな

時に、キッズバレイが商店街の空き店舗を利用して開設した『cocotomo』の一部を提供してもらえることになり、今年の5月に学習会を始めました」

「毎週木曜日の夜に学習会を開いています。小・中学生なら誰でも参加できます。子どもたちは宿題や問題集を持ってきて自習をし、分からない所をボランティアの学生が教えます。毎週来る子どもも徐々に増えてきて、毎回15人〜20人ほどが参加しています。子どもたちに『教えてもらったことが分かるようになったよ』『来週もまた来るね』と言われるととてもうれいのです。」

### 桐生の魅力の一つに

子どもは家族や学校の先生以外の人と関わることで、さまざまな考え方を学び、視野が広がるといいます。この学習会が子どもたちにとって街の魅力の一つになればいいですね。

私は来春、大学院を卒業して群馬を離れる予定ですが、子どもたちには、これからも家庭や学校とは違う第三の居場所として、この学習会を利用してほしいです」



自習で分からない所をアドバイスする

### ご利用ください

ぐんま子育て応援サイト「子育てネット」

幼稚園や保育所、認定こども園などの施設や、一時預かり、放課後児童クラブなどの子育て支援に関する情報を市町村別に検索することができます。各種相談窓口なども掲載しています。

URL <http://kosodate-net.pref.gunma.jp/>

※下図から読み取れます



☎ 県庁子育て・青少年課 (☎・FAX 下記)

こどもホットライン24 (県中央児童相談所)

子育ての悩みや心配事に関する相談を受け付けています。

相談日・時間 毎日 24時間  
相談先 フリーダイヤル0120・783・884 (携帯電話からは☎027・263・1100)

※匿名での相談も受け付けます  
よい子のダイヤル (県生涯学習センター)

家庭教育や子どもの問題などに関する相談を受け付けています。

相談日 火・土曜日  
※祝日、月曜日が祝日の場合の翌日、12月27日(水)30年1月5日(金)を除く

時間 午前10時30分〜午後0時30分、1時30分〜3時30分、4時30分〜6時30分  
相談先 ☎027・224・4152

※匿名での相談も受け付けます

### 問い合わせ先

子どもの居場所づくりについて…県庁子育て・青少年課  
放課後子ども教室について……県庁生涯学習課

☎027-226-2622  
☎027-226-4662

FAX027-226-2100  
FAX027-224-8780

# 28年度群馬県 普通会計決算

県の決算状況についてお知らせします。

平成28年度の決算額は、歳入総額が7361億円、前年度に比べて255億円（3.3%）減少しました。また歳出総額は7258億円、前年度に比べて261億円（3.5%）減少しました。歳入・歳出いずれも、26年2月の大雪で被災した農業用ハウスの復旧に対する補助が27年度で完了したことなどが減少の主な要因です。

積立金（財政調整基金、減債基金）の年度末残高は、社会保障関係経費の増加などに対応する中で、基金を取り崩したことなどにより、前年度に比べ94億円（37.1%）減の159億円で、元年度以降で最少となりました。

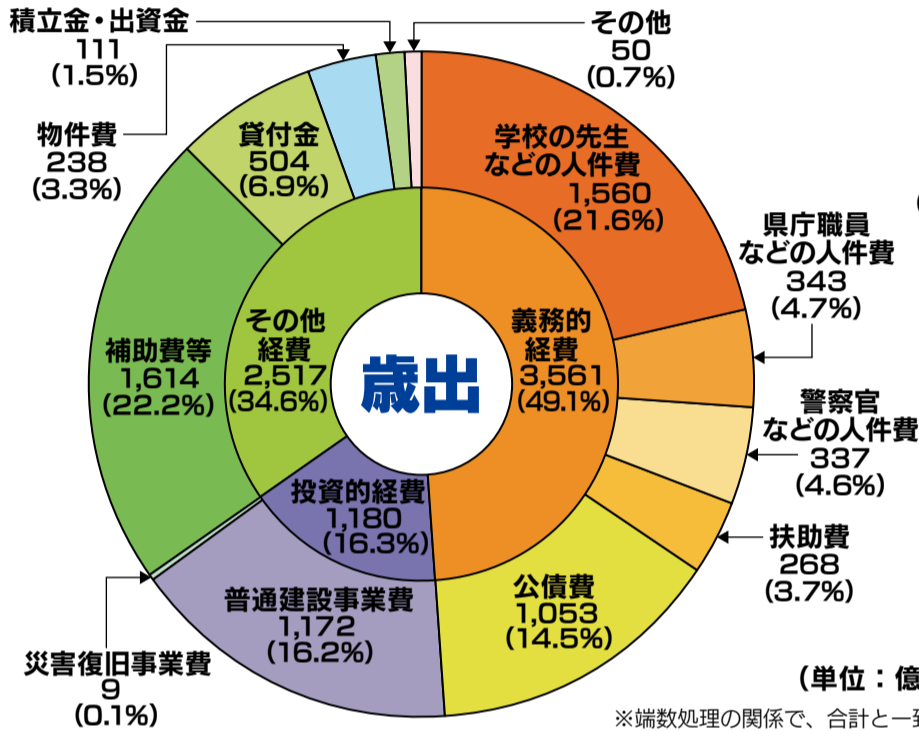
県債の年度末残高は、臨時財政対策債が増加しましたが、それ以外の県債は、前年度末に比べ75億円（1.1%）減少しました。

## 決算の概要 (単位：億円)

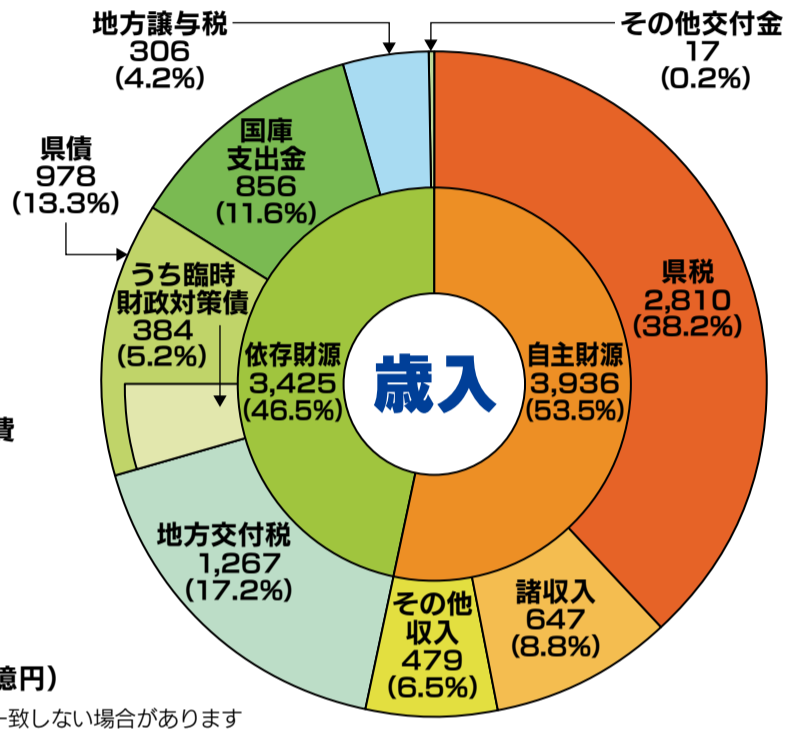
	27年度	28年度	前年度比(%)
歳入総額 A	7,616	7,361	-3.3
歳出総額 B	7,519	7,258	-3.5
歳入歳出差引 C=A-B	97	103	5.7
翌年度に支払うことが決まっているもの D	54	61	13.5
実質収支 C-D	43	42	-4.0
積立金残高	253	159	-37.1
県債残高	11,997	12,045	0.4
臨時財政対策債	5,121	5,244	2.4
臨時財政対策債以外の県債	6,876	6,801	-1.1

※表示単位未満を四捨五入しているため、前年度比（金額、比率）が一致しないものがあります

## 歳出総額 7,258億円



## 歳入総額 7,361億円



(単位：億円)

※端数処理の関係で、合計と一致しない場合があります

**義務的経費**…任意に削減することが困難な経費  
**投資的経費**…将来にわたり使用される施設などの建設費  
**扶助費**…生活保護費や児童手当など、住民福祉を支えるための経費  
**公債費**…これまでに借り入れた県債の返済金と利子  
**補助費等**…負担金、補助金など、県から市町村や民間に対して交付される経費

**諸収入**…貸付金の返還金や利息など  
**地方交付税**…いったん国が税として集め、その一定割合が地方公共団体に配分されるお金  
**臨時財政対策債**…地方交付税の不足分の一部を、いったん県で借金をして賄っておくために発行する県債  
**国庫支出金**…使い道を決めて、国から支払われるお金  
**地方譲与税**…国税として集められ、国から県に譲渡されるお金

※ここでは普通会計決算の数字を使用しています。普通会計とは全国統一の基準で、他の都道府県と比較できるように、一般会計と特別会計を合わせたものから公営企業会計などを除いたものです

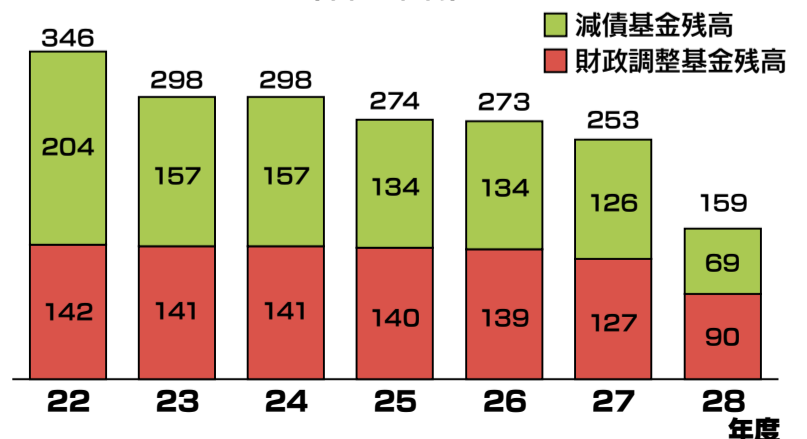
**歳入**  
 県税収入は2810億円でした。企業業績の改善や給与所得の増加に伴う法人事業税や個人県民税の増加などにより、前年度に比べて27億円（1.0%）増加し、5年連続の増収となりました。  
 一方で、地方交付税と臨時財政対策債を合わせた実質的な交付税は1651億円で、42億円（2.5%）減少しました。

**歳出**  
 人件費は前年度に比べて6億円（0.3%）減少し、2240億円でした。これは、児童・生徒数の減少に伴い、教職員数が減少したことによるものです。  
 補助費等は199億円（11.0%）減少し、1614億円となりました。これは、大雪被害からの復旧に対する補助事業が27年度に完了したことによるものです。

【問い合わせ先】県庁財政課  
 ☎ 0277-2226-2098  
 FAX 0277-224-9123  
 ※県決算については、県ホームページ ([http://www.pref.gunma.jp/cate\\_list/ct00005612.html](http://www.pref.gunma.jp/cate_list/ct00005612.html)) からご覧になれます

28年度決算では、県税収入が増加した一方で、実質的な交付税は減少しました。また社会保障関係経費の増加などに対応する中で、基金残高が大幅に減少していることなどから、引き続き厳しい財政運営が見込まれます。  
 今後も県総合計画「はばたけ群馬プランII」を着実に推進するため、歳入の見直しを行うとともに、歳入の確保についても県有地の売却を行うなど、中長期的な視点に立って、持続可能な財政運営に努めていきます。

## 積立金残高の推移 (単位：億円)



# 第62回全日本実業団対抗駅伝競走大会

# ニューイヤー駅伝

# 2018 in ぐんま



平成30年1月1日 午前9時15分群馬県庁スタート!

午前8時30分からTBS系列28局フルネット・群馬テレビで放映

## 中継所イベント

※時間は変更になる場合があります

※飲食物などの無料配布や販売は、無くなり次第終了となります

みんなも応援してね!

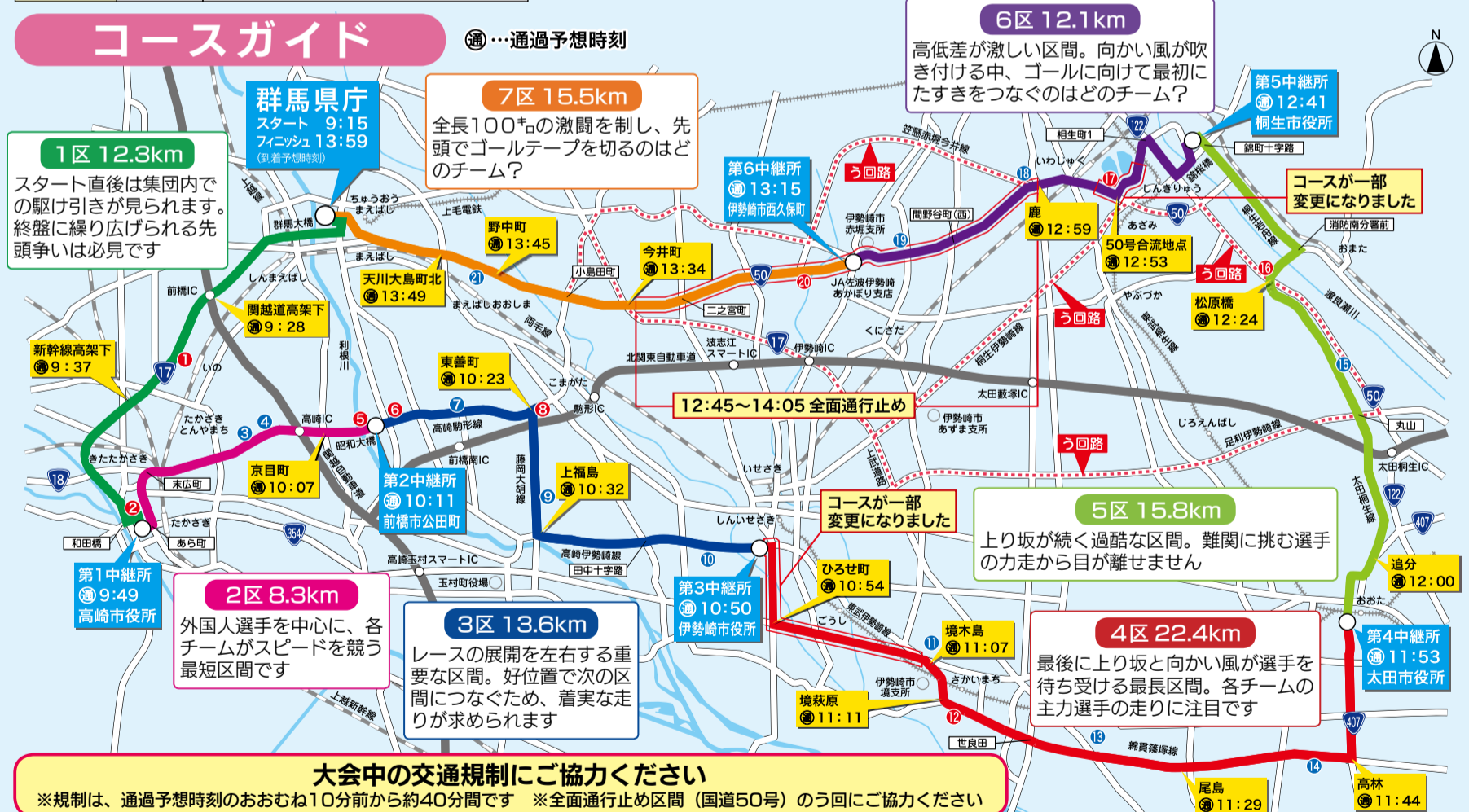


会場	開始時刻	内容
群馬県庁	7:30	伊香保温泉足湯体験
	8:00	きのこ汁・すき焼き風牛鍋の無料配布
	8:25	前橋華龍太鼓の演奏
	8:40	八木節の披露
第1中継所	9:00	高崎頼政太鼓の演奏
第2中継所	9:30	まえばしtonton汁の無料配布
第3中継所	9:00	甘酒・お汁粉の無料配布
	9:30	伊勢崎市の郷土芸能の披露

会場	開始時刻	内容
第4中継所	10:20	焼きそばの販売、コーヒー・牛乳・乳製品関連グッズの無料配布
	11:00、11:50	新田太鼓の演奏
第5中継所	11:10	お汁粉・豚汁・コーヒー・麦茶の無料配布
	11:10、12:00	八木節の披露
第6中継所	10:00	甘酒・豚汁・コーヒー・お茶の無料配布
	11:30、12:30	ひごろも太鼓の演奏
	12:00	ヒップホップダンスの披露

## コースガイド

通…通過予想時刻



## 応援ポイント(無料駐車場)

- ① しみずスーパー小八木店
- ② 県西部児童相談所
- ③ JAたかさき本店
- ④ 峠の釜めし本舗おぎのや高崎売店
- ⑤ たむらや前橋南部店
- ⑥ ドコモショップ前橋南店
- ⑦ セブン-イレブン前橋下佐鳥店
- ⑧ ファミリーマート前橋東善店
- ⑨ 旧JA佐波伊勢崎じょうよう支店
- ⑩ JA佐波伊勢崎本店
- ⑪ 境総合文化センター西駐車場
- ⑫ フレッセイ境南店
- ⑬ 道の駅おおた
- ⑭ 沢野行政センター・沢野スポーツ広場
- ⑮ 県立東毛産業技術センター
- ⑯ 松原橋公園
- ⑰ 桐生競艇場みどり市営駐車場 No.1
- ⑱ みどり市笠懸庁舎
- ⑲ フォリオ赤堀店
- ⑳ auショップ赤堀店
- ㉑ 県勤労福祉センター

※応援の際は、競技の妨げにならないよう注意してください ※無料駐車場の利用は、原則として走者の通過予想時刻の1時間前から最終走者通過後30分までです ※青色の番号の無料駐車場は、大型車の駐車が可能です

## 問い合わせ先

ニューイヤー駅伝実施本部(県庁スポーツ振興課)

☎027-226-2081 FAX027-224-8780

ホームページ <http://www.pref.gunma.jp/03/z8700066.html>



インフォメーション  
**INFORMATION**

県ホームページ  
<http://www.pref.gunma.jp/>

問い合わせの際は、番号を間違えないようにお願いします

☎は問い合わせ先、🏠はホームページです

\* 印の施設では、障害者手帳などをお持ちの方とその介護者（1人）は無料です。証明できるものをお持ちください

# 「上野三碑」ユネスコ「世界の記憶」登録決定

古代の社会制度や東アジアとの文化交流を示す「上野三碑」（山上碑、多胡碑、金井沢碑）の世界的な価値が評価され、10月31日にユネスコ「世界の記憶」に登録されました。11月1日には、県庁で祝賀セレモニーが開かれ、大澤知事は「上野三碑が世界の宝として未永く愛され、守り続けられることを願う」とあいさつしました。



山上碑



完全な形で残るものとしては、日本で最古の石碑。僧侶の長利が亡き母への思いを込めて681年に建立しました。碑文は日本語の語順に漢字を並べる方法で書かれていて、漢字文化の和風化を示す点で高い学術的価値があります。

**所在地** 高崎市山名町  
J R高崎駅から上信電鉄「西山名駅」または「山名駅」下車。徒歩20分  
※無料駐車場12台（大型不可）

多胡碑



多胡郡が誕生した経緯を永く伝えるために、711年頃に建立されました。碑に刻まれた文字は古代の楷書の好例として、朝鮮通信使を通じて清国にも紹介されました。現在に至るまで、書を通じた朝鮮などとの文化交流に貢献していることでも国際的な価値があります。

**所在地** 高崎市吉井町  
J R高崎駅から上信電鉄「吉井駅」下車。徒歩25分  
※多胡碑記念館あり  
※無料駐車場あり（大型可）

金井沢碑



地域社会での仏教の広がりや家族の中での女性の地位、東国における政治の実情を伝える石文で、726年に建立されました。古代東国の家族関係や仏教の普及、地方行政制度の実態などを知る上で重要な価値があります。また「群馬」の文字が使われた県内最古の例としても注目されています。

**所在地** 高崎市山名町  
J R高崎駅から上信電鉄「根小屋駅」下車。徒歩10分  
※無料駐車場20台（大型可）

## ユネスコ「世界の記憶」とは

世界の重要な記録遺産の保護と振興を目的に、平成4年に開始された事業。現在の登録は427件（29年10月現在）で、日本関係では「上野三碑」の他に6件（山本作兵衛炭鉱記録画・記録文書、慶長遣欧使節関係資料、御堂関白記、舞鶴への生還、東寺百合文書、朝鮮通信使に関する記録）が登録されています。

## 高崎市は「上野三碑」めぐりバスを運行しています

吉井駅（上信電鉄）を起点に45分間隔で運行しています（第1便午前9時発、最終便午後2時15分発）。途中、多胡碑、山上碑、山名駅（上信電鉄）、金井沢碑の順に停車しますので「上野三碑」の見学にぜひご利用ください。運賃は無料です。運行時間など詳しくは、高崎市ホームページ（<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2017101900021/>）をご覧ください。



催し

北朝鮮人権侵害問題啓発週  
間(12月10日～16日)のイ  
ベント

拉致問題をはじめとする北朝鮮による人権侵害問題について、認識を深めるためのイベントを実施します。  
【拉致問題を考える講演会とコンサートの集い】

期日 12月10日(日)  
時間 午後1時～4時(0時30分開場)  
会場 群馬音楽センター(高崎市高松町)  
内容 拉致被害者家族による講演や高崎市立東部小学校・陸上自衛隊によるコンサート  
【共通事項】  
費用 無料  
申し込み方法 当日、直接会場にお越しください  
その他 詳しくは、県ホームページ(<http://www.pref.gunma.jp/02/d0110215.html>)をご覧ください

【拉致問題パネル展】  
期日 12月12日(火)～18日(月)  
時間 午前9時～午後6時  
※18日は3時まで  
会場 県庁(前橋市大手町)  
【共通事項】  
費用 無料  
申し込み方法 当日、直接会場にお越しください  
その他 詳しくは、県ホームページ(<http://www.pref.gunma.jp/02/d0110215.html>)をご覧ください

さや自然保護の大切さを多くの人に知ってもらうため、NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテストの入賞作品50点と、尾瀬の自然保護に関するパネルを展示します  
観覧料 無料  
尾瀬保護財団(☎027・220・4431 FAX027・220・4421)



昨年度の風景の部 金賞「天上の草紅葉」

県職員の仕事と採用に関する説明会

将来、県職員(教員を除く)採用試験の受験を検討している人を対象に、説明会を行います。  
期日 30年1月5日(金)  
時間 午前10時～11時30分  
警察官以外の県職員 午後1時30分～5時15分  
会場 県庁(前橋市大手町)  
内容 県職員の仕事内容や採用試験の概要説明、先輩職員による職種説明(行政事務、警察事務、学校事務、農業、総合土木など)  
定員 各200人(先着順)  
申込期限 12月17日(日)  
費用 無料  
申し込み方法 ぐんま電子申請受付システム(<http://www.shinsei.eig-front.jp/gunma/navi/index.html>)

その他  
詳しくは、県ホームページ(<http://www.pref.gunma.jp/saiyou/>)をご覧ください  
・説明会への参加の有無は、その後の選考に影響を与えるものではありません  
問 県人事委員会事務局(☎027・226・2745 FAX027・226・2747)

美術館・博物館  
などの催し

自然史博物館サイエンス・サタデー「コケのテラリウムをつくる」

期日 12月9日(土)  
時間 午後2時～3時(受け付けは1時30分から)  
会場 県立自然史博物館(富岡市上黒岩)  
内容 コケについて学んだり、博物館周辺でコケを採取し、ガラスの小さな瓶に入れて栽培するテラリウムを作ります



コケを使ったテラリウム

講師 当館職員、ボランティア  
対象 小学生以上の人  
※小学3年生以下は、保護者の付き添いが必要  
定員 30人(先着順)  
費用 無料  
申し込み方法 当日、直接会場にお越しください  
問 ☎0274・60・1200  
FAX0274・60・1250

歴史博物館企画展「昭和な  
くらし、そしてスバル。」\*

会期 12月16日(土)～30年2月25日(日)  
※月曜日(祝日の場合はその翌日)、12月28日(木)～1月3日(水)は休館  
時間 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)  
会場 県立歴史博物館(高崎市綿貫町)  
内容 黒電話やローラー式電気洗濯機などの「触れる展示」で、群馬の高度経済成長期の道具と暮らしを紹介し、またものづくりと人の関わりをスバルへのインタビューで紹介



白黒テレビ

観覧料 一般1500円、大学・高校生1250円、中学生以下1100円  
問 ☎027・346・5534  
FAX027・346・5534  
ぐんま昆虫の森季節展「昆虫たちの冬越し展」  
「フォトコンテスト作品展」\*  
会期 30年1月4日(木)～2月25日(日)  
※月曜日(祝日の場合はその翌日)休館  
時間 午前9時30分～午後4時30分(入園は4時まで)  
会場 県立ぐんま昆虫の森(桐生市新里町)  
内容 冬の野山ではあまり昆虫を見ることがありませんが、実はさまざまな場所に隠れて過ごしています。昆虫の冬越し方を紹介したり、昆虫の写真や虫と人の触れ合いの写真を展示したりします  
入園料 一般1410円、大学・高校生1200円、中学生以下1100円  
問 ☎0277・74・6441  
FAX0277・74・6466

ぐんま一番  
群馬テレビ  
毎週金曜日 午後7時30分  
(再放送)日曜日 午前9時30分  
群馬の宣伝部長「ぐんまちゃん」、宣伝部員のタイムマシン3号と女性部員が、群馬を全国に宣伝するために、地域の魅力を紹介し、  
12月8日/冬でも農家は忙し 野菜の王国 昭和村 12月15日/桐生市 12月22日/総集編  
問 県庁広報課(☎027-226-2167 FAX027-243-3600)

ぐんまちゃんの  
群馬の魅力再発見! 28  
「ぐんまがいちばん!」でふるさと自慢  
県で作成・発行している冊子「ぐんまがいちばん!」では、県のマスコット「ぐんまちゃん」が写真やイラストを使って「群馬が日本一」「群馬が日本初」など、群馬のさまざまな魅力を分かりやすく紹介しています。子どもの学習用や県内外の人に群馬の魅力を紹介する時などに、ぜひ活用してください。  
【ぐんまのトリビア～これが日本一、日本初～】  
○コンニャクイモの収穫量は全国の90%以上を占め日本一  
○県内の道路に設置されているメロディーラインの数は10カ所で日本一  
○磯部温泉は、古地図に日本最古の温泉マークが記された温泉記号発祥の地  
○尾瀬は「ごみ持ち帰り運動」が初めて行われた所  
○桐生出身の農学博士・森喜作は、世界で初めてシイタケの人工栽培に成功した人物  
※「ぐんまがいちばん!」は県民センターや、県行政県税事務所、ぐんまちゃん家(東京都中央区銀座)で定価160円(税込み)で販売しています。県ホームページ(<http://www.pref.gunma.jp/01/b0100132.html>)からもご覧になれます  
問 県庁広報課(☎027-897-2695 FAX027-243-3600)

群馬クレインサンダーズ試合情報

日程	開始時刻	会場	対戦相手
12月9日(土)	午後6時	前橋	信州ブレイブウォリアーズ
12月10日(日)	午後2時		
12月20日(水)	午後7時		
12月23日(土)	午後6時	伊勢崎	香川ファイブアローズ
12月24日(日)	午後2時		

会場 前橋…ヤマト市民体育館前橋(前橋市上佐鳥町) 伊勢崎…伊勢崎市民体育館(伊勢崎市堤西町)  
入場料 席種などにより異なります。詳しくはお問い合わせください 入場券購入先 群馬クレインサンダーズホームページ  
問 群馬プロバスケットボールコミッション ☎027-289-9562 FAX027-289-9563 URL <https://g-crane-thunders.jp/>

群馬交響楽団定期演奏会情報

期日 30年1月27日(土) 開演時刻 午後6時45分(6時開場) 会場 群馬音楽センター(高崎市高松町)  
内容 指揮:大友直人、ピアノ:半田智大、曲目:ジョン・ウィリアムズ/映画《ハリ・ポッターと賢者の石》組曲から「ハドウィッグのテーマ」、プロコフィエフ/ピアノ協奏曲 第3番 八長調 作品26など  
入場料 S席=4,600円、A席=4,100円、B席=3,600円、C席(自由席)=2,100円  
入場券販売場所 群馬音楽センター、チケットぴあ、群馬交響楽団事務局(高崎市高松町)など  
問 群馬交響楽団事務局 ☎027-322-4316 FAX027-322-4943 URL <http://www.gunmyo.com/>

チケットプレゼント クロスワードパズルの正解者の中から抽選で、群馬クレインサンダーズ(今シーズンホームゲーム共通)、群馬交響楽団定期演奏会(2月24日)のチケット(2枚組み)をそれぞれ5人にプレゼントします。詳しくは8ページをご覧ください



# イベント情報

※県観光情報誌「ググっとぐんま(秋・初冬号)」に掲載されている主なイベントを紹介します。詳しくはお問い合わせください  
※内容が変更になることがありますので、お出掛けの際はご確認ください

名称	日程・時間	会場	内容	費用	問い合わせ先
いせさきイルミネーション	12月25日(月)まで 午後4時30分～9時30分	華蔵寺公園 (伊勢崎市華蔵寺町)	「まゆドーム」や鐘楼などのモチーフをかたどったイルミネーションが、公園内を華やかに彩ります	一般=200円、 小学生=100円、 小学生未満=無料	伊勢崎商工会議所 ☎0270-24-2211 FAX0270-24-4362
ぐんまフラワーパーク「イルミネーションフェスタ」	30年1月8日(月)まで 午後4時～9時 (入園は、8時30分まで)	ぐんまフラワーパーク (前橋市柏倉町)	100万球の電球が園内を彩ります。建物や空間に映像を映し出す「プロジェクションマッピング」や音楽に合わせて夜空に光線を発射する「水上レーザーショー」も楽しめます	一般=600円、 中学生以下=無料	ぐんまフラワーパーク ☎0120-1187-38 FAX027-283-8389
榛名湖イルミネーションフェスタ	12月8日(金)～ 26日(火) 午後5時～10時	榛名湖周辺 (高崎市榛名湖町)	クリスマスツリーや光のトンネル、最大級のレーザーライトなど約55万球の電球が、冬の榛名湖を妖しく演出します	無料 ※駐車料金 600円がかかります	榛名湖イルミネーション実行委員会 ☎027-374-5111 FAX027-374-5037
ぐんま天文台ふたご座流星群観測会	12月14日(木) 午後6時～午前2時	県立ぐんま天文台 (高山村中山)	大都会から離れた天文台の屋外広場に寝転がって流星群を観察します。65望遠鏡による天体観測もできます	一般=300円、 大学・高校生=200円、 中学生以下=無料	県立ぐんま天文台 ☎0279-70-5300 FAX0279-70-5544

## おたよりコーナー



クロスワードパズルへの応募はがき・メールを紹介します

◆群馬は野菜の生産量が多く、味もおいしいと思っていましたが、県が重点推進品目を定めたり、海外への輸出を支援したりしていることは知りませんでした。

農家の新しい管理方法への取り組みや若手生産者の広報活動、女性農業者の販路拡大など、地道な努力があることが分かりました。今後はもっと味わって食べようと思います。(渋川市 36歳)

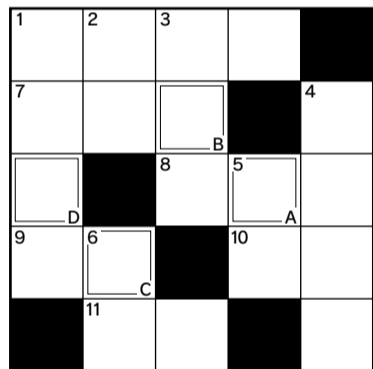
◆11月号のクロスワードパズルの答え「実りの秋」は、群馬県にふさわしい言葉ではないでしょうか。自然が豊かで、農業が盛んで。そんな群馬を誇りに思います。

(伊勢崎市 41歳)

※掲載された人には、ぐんまちゃんのぬいぐるみをプレゼントします

## クロスワードパズル

正解者の中から抽選で「県有施設の無料招待券(2枚組み)」などを各5人にプレゼントします



答え:A~Dを順番に並べると?



### たてのかぎ

- 土を盛って作る相撲を取る場所
- 物に当たった光が反射したり吸収されたりすることで見えるもの。色相、彩度、明度の三要素によって決まる。虹〇〇
- 尾が長く二つに割れ、日本には春に飛来し、秋に南方に去る鳥
- 計算器の一種。「読み・書き・〇〇〇〇」
- 海・湖などの波打ち際。特に石の多い海岸
- 食用・香料・薬用として利用される、香りの良い植物。梅干し漬けの色素となる

### よこのかぎ

- スイスやオーストリアなどの公用語。漢字表記は「独語」
- 多くの人が集まる広い場所。駅前〇〇〇
- いったん入ると、入り口や出口、方角さえも分からなくなるような道
- 十二支の2番目
- タデ科の一年生作物。夏と秋に収穫した実をひいて粉にする
- 父または母の父親

応募方法 はがき、Eメールまたは「ぐんま電子申請受付システム」。①パズルの答え②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥今月のぐんま広報へのご意見・ご感想⑦希望の賞品名を書いてください(Eメールは件名に「クロスワードパズル12月」と記入してください)

### 応募先

- はがき 〒371-8570 群馬県庁広報課クロスワードパズル係
- Eメール crossword@pref.gunma.lg.jp
- 電子申請 <http://www.shins-ei.elg-front.jp/gunma/navi/index.html> (携帯電話用ホームページのURLは右図から読み取れます)



応募期限 12月13日(水)消印有効

※Eメール、電子申請は13日送信分まで

賞品 次の中から希望のものを明記してください  
近代美術館、館林美術館、歴史博物館、自然史博物館、土屋文明記念文学館、日本絹の里、ぐんまフラワーパーク、ぐんま天文台、ぐんま昆虫の森、ぐんまちゃんトートバッグ、ぐんまちゃんグッズ、群馬クレインサンダーズ(今シーズンホームゲーム共通)、群馬交響楽団定期演奏会(2月24日)

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

## 編集室だより

特集の取材で子ども食堂に行った日の主菜は、手作りのカレーコロッケでした。調理中からカレー粉の匂いが食欲をそそり、出来上がると子どもや親子連れ、近所の人などが食事を楽しんでいました。

また折り紙が上手にできずに泣いてしまった園児をおじいさんが励ます姿も見られ、子どもと大人の交流が自然に生まれていました。

雰囲気も温かいこの食堂は、誰もがほっとできる「居場所」になっているのだと感じました。(小林)